

七 口 イ 払	六 口 イ 発	入 札 格 第 參 市 發 競 I 加 場 行 争 額
行 争 非 者 特 国 入 価 入 価 ・ 別 債 札 格 札 格 第 參 市 發 競 金 發 競 I 加 場 行 争 額	行 争 非 者 特 国 入 価 ・ 別 債 札 格 札 格 第 參 市 發 競 I 加 場	入 価 行 争 非 者 特 国 入 札 格 行 入 価 ・ 別 債 札 發 競 札 格 第 參 市 發 行 争 額 發 競 I 加 場 行
六五六 百万千 二円四 十一百 一十五 一億 十四 二亿 二百 二千 二十四 八百 万円 七十	でた条特で利第別三つ定う額 六利第別四付一会十いにち面 百付一会百国項計億て基、金 十国項計四債のに九はづ財額 四債のに十に規関千、き政で 億に規関九つ定す六額發法 円つ定す億いにる百面行第 いにる三て基法三金し四 て基法百はづ律十額た条 、づ律六、き第五で利第 額き第十額發四万五付一 面發四五面行十円千国項 金行十万金し六、九債の億 額し六円額た条特百に規円	込募各当も み限国ての の度債るか 応額市。ら 募の場そ 額範特 を囲別応 割内募額 りに参加 當お者を順 ていごと るて。各の 申応り

十十
 三二
 口イ一
 発
 の経利行争非者特国入価發
 払過入価・別債札格行行
 込利札格第参市發競価
 み子率發競I加場行争格日
 振額最
 替低
 單額
 面位
 金

(二)

額金にの口るに
 へ額よに座も係發
 たにりつにのる行
 だ百算い記と所時
 し分出て載し得に
 、のしは又て税お
 当二た、は振がい
 該十金前記替源て
 国を額記録口泉、
 債乗か(一)き座徵そ
 をじらのれ簿収の
 発た当算る中さ利
 行金該式ものれ子

(一)年
 む十式は二
 も号に、募・
 のによ払入〇
 と規り込決パ
 す定算金定ト
 るす出額のセ
 。るしに通ン
 期た加知ト
 日金えを
 に額、受
 払を次け
 い第のた
 込二算者
 銭額以額
 面上面
 金の金
 額そ額
 百れ百
 円ぞ円
 にれに
 つのつ
 き応き
 百募百
 一価一
 円格円
 十五
 六錢
 平す額の振
 成るの記替
 二。整載法
 十数又の
 三百倍は規
 三年の記定
 十月金録に
 つ月額はよ
 十八に、る
 八日よ最振
 一日る低替
 も額口
 の面座
 と金簿

$$\text{額面金額の総額} \times \frac{2.0}{100} \times \frac{28}{365}$$

二十九八七六十五

十四

払者入払元償償
込札場利還還
期參所金金期
日加支額限子以

初
期
利
子

平成財務大臣から通知を受けた者
二十三年十月十八日
大行額百三十円
本面成銀五百円
成子、支年三月
利期月と二月
利年う以し十
利九。前、日
利六各及
利月支び
利月支九
利間払九
利百十円
利日

額面金額× $\frac{2.0}{100} \times \frac{1}{2}$

規下は期た期平定、が金と成控得は出に住時
す次そ銀額し二除税外しは者に
る号の行を、十すの国た、又お
期及翌休支次四る税法金前はい
日び當業払の年こ率人額記外て
に第業う算三とをがに(一)国取
つ十日に式月が乗適当の法得
い六にたに二でじ用該算人す
て号支當だよ十きたを非式でる
同に払たしり日る金受居にあ者
じおうる、算を。額け住よるが
いへと支出支。る者り場非
て以き払し払を所又算合居